

住友ゴムグループは、社内および社外の多様な経営資源を投入し、事業を展開しています。現在は新たに策定した中期経営計画に基づき、企業としての経済的・社会的価値をさらなる高みに導きます。

※掲載内容は本年2月に発表したものです。世界的な新型コロナウイルスの感染拡大による影響は加味しておりません。

主な経営資源

財務資本
健全な財務体質と安定した収益構造

資産合計	資本合計
10,355 億円	4,755 億円 (2019年度)

製造資本
国内外に広がる多様な生産ネットワーク

国内	海外
6 拠点	16 拠点

人的資本
住友事業精神が根づく多様な人材

連結従業員数

39,233名
(2019年度)

知的資本
次の成長をもたらす豊富な知的財産

研究開発費

262億円
(2019年度)

自然資本
環境負荷の低減、循環型社会の実現に向けた効率的な環境資源の活用

CO ₂ 排出量	水使用量
1,095 千t-CO ₂ e	14,047 千m ³ (2019年度)

事業活動と成長戦略、中期目標

現在の事業活動

事業別売上収益構成比

スポーツ事業	9.5%
産業品他事業	4.6%
タイヤ事業	85.9%

海外売上収益構成比

日本	36.8%
北米	17.5%
欧州	14.5%
アジア	18.9%
その他	12.3%

タイヤ事業
乗用車用、トラック・バス用、モーターサイクル用など各種のタイヤを国内外に提供しています。

スポーツ事業
ゴルフクラブやボール、テニスラケットやボールなどを製造・販売し、フィットネス事業も展開しています。

産業品他事業
ゴム手袋、介護用品などの生活用品から人工芝、医療用ゴム部品、制振ダンパーなどの産業用資材を提供しています。

成長戦略

Value Driver

- ① 高機能商品の開発・増販
- ② 新たな価値の創出
- ③ ESG経営の推進

企業の
経済的・社会的価値を
さらなる高みへ

利益創出の活動

経営基盤強化の全社プロジェクト
[Be the Change]

組織体質の強化活動

新市場への挑戦

新分野の創出

グローバル体制の成果を最大化

飽くなき技術革新

SMART TYRE CONCEPT
スマートタイヤコンセプト

次のステージへ

2020年 → 2025年

住友事業精神

経営資源活用の成果

財務資本 2019年度 (前期比)

売上収益 **8,933**億円 (△0.1%)

事業利益 **539**億円 (△11.2%)
>> 7.29ページご参照

製造資本 2019年度 (前期比)

有形固定資産 **4,209**億円 (+13%)

設備投資額 **581**億円 (△0.6%)
>> 30ページご参照

人的資本 2019年度 (前期比)

離職率 **3.2%** (△0.6%)

有給休暇取得率 **77.3%** (+11%)
>> 32ページご参照

知的資本 2019年度 (前期比)

国内・海外特許件数 **9,156**件 (△43件)
>> 33ページご参照

自然資本 2019年度 (前期比)

有機溶剤排出量 **1,603**t (+1.9%)

排水量 **10,969**千m³ (+0.6%)
※工場以外の拠点を含むデータ >> 34ページご参照

中期目標

経済的価値

目標指標	2025年までに 目指す姿
成長力	売上収益 1兆円以上
収益力	事業利益 1,000億円以上
投下資本収益力	ROE 10%以上
財務健全性	D/Eレシオ 0.5以下

社会的価値

「経済的価値向上」と「社会的価値向上」の双方の視点から事業を捉え、新たな価値を創造し続ける事によってESG経営を推し進め、SDGsの達成に貢献

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS